

政策シート 政策名 01 市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進

予算費目名 11 天竜区役所費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 07 地方自治・都市経営

理想の姿 (30年後) ◆協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。

政策の柱 (10年後) ◆協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。
◆公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

基本政策 02 だれもがいきいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

森林と水 生命はぐくむ 天竜区 「豊かな自然と地域特性を活かし、安心して定住できるまち」を目指します。
《区政運営の6つの基本方針》
①安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。
②区民の目線で地域福祉などの行政サービスを提供します。
③市民協働で区の魅力・情報を発信します。
④自然との共生・保全と環境への貢献、森林資源の活用を図ります。
⑤地域の資源を活かし、心の豊かさにつなげる文化振興に取り組みます。
⑥ふるさとに愛着を持ち、今後もいきいきと活躍できる地域を目指します。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育	⑨イノベーション	⑮陸上資源	⑰実施手段						
-----	----------	-------	-------	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	403,769	467,613	452,768	382,387	429,750	
決算	356,766	333,950	427,513	358,938		
人件費(報酬等)(A)	1,292	1,227	1,255	1,266	1,906	
人件費(人工分)(B)	161,900	161,900	162,600	162,600	162,600	
年間経費(予算又は決算+A+B)	519,958	497,077	591,368	522,804	594,256	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
区協議会開催回数(回)	回	目標	12	12	12	12	12	12
		実績	12	11	12	12		
地域力向上事業実施件数(件)	件	目標	30	30	30	30	30	30
		実績	28	20	23	23		

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

森林と水 生命はぐくむ 天竜区 「豊かな自然と地域特性を活かし、安心して定住できるまち」を目指します。
《区政運営の6つの基本方針》
①安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。
②区民の目線で地域福祉などの行政サービスを提供します。
③市民協働で区の魅力・情報を発信します。
④自然との共生・保全と環境への貢献、森林資源の活用を図ります。
⑤地域の資源を活かし、心の豊かさにつなげる文化振興に取り組みます。
⑥ふるさとに愛着を持ち、今後もいきいきと活躍できる地域を目指します。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
・区協議会	12回開催
・地域力向上事業	23件実施

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	区管理運営事業	-	-		234,249	126,249	13.6	2.0		2.0	
2	協働センター等管理運営事業	-	-		238,129	196,129	6.0				
3	区協議会運営事業	-	-		4,896	190	0.4				1,906
4	地域力向上事業	○	○		34,801	30,601	0.6				
5	行政連絡文書配布事業	-	-		29,336	28,636	0.1				
6	自治会振興事業	-	-		24,368	22,968	0.2				
7	鹿島花火大会開催事業(負担金)	-	-		7,468	6,768	0.1				
8	天竜区交流促進事業(負担金)	○	○		12,705	12,005	0.1				
9	森林のまち童話大賞事業	-	-		2,163	1,463	0.1				
10	天竜区駅伝大会事業(負担金)	-	-		4,545	3,845	0.1				
11	区役所デジタル運営経費	-	-		1,596	896	0.1				
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					594,256	429,750	21.4	2.0		2.0	1,906

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 区管理運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民に身近な行政機関として、総合的な行政サービスの提供の場としての施設・設備機能の整備、維持管理等を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	114,624	114,918	112,807	110,402	126,249	
	決算	106,458	106,742	107,155	105,655		
	国・県支出						
	市債						
	その他	8,821	8,342	16,250	8,746	10,398	
	一般財源	97,637	98,400	90,905	96,909	115,851	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	108,000	108,000	108,000	108,000	108,000	
人工	正規	13.6	13.6	13.6	13.6	13.6	
	再任用(31h)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
年間経費(予算又は決算+A+B)		214,458	214,742	215,155	213,655	234,249	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
「市民への約束」評価の平均点(点)※ 2020(R2)年度から下段の指標に変更		目標	4.5	-	-	-	-	-
		実績	4.6					
天竜区における「市民への約束」評価アンケート「満足」・「やや満足」と回答した割合(%)		目標	-	98	98	98	98	98
		実績	-	99	99	100		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ①区役所運営事業
区役所の行政サービスを円滑に実施するため必要な事業を実施した。
- ②公有財産維持管理事業
天竜区内の公有財産を適切に管理するために必要な事業を実施した。
- ③庁舎維持管理事業
天竜区役所として庁舎を市民が快適、安全に使用していただくために必要な事業を実施した。
- ④公用自動車管理事業
公用車を安全に運行するために必要な事業を実施した。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

2022(令和4)年度 天竜区における「市民への約束」評価アンケート「満足」・「やや満足」と回答した割合 100%

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- [区役所運営事業] 職員研修等を通じて、職員の意識改善を図り、質の高い行政サービスの提供を目指した。
- [公有財産維持管理事業] 普通財産の維持管理、土地・建物等の貸付料徴収事務、売払事務を行い、適切な財産管理を行った。
- [庁舎維持管理事業] 昼休みの消灯など、適切な維持管理により経費削減を図った。
- [公用自動車管理事業] 公用車の適切な維持管理と安全運転の啓発を図った。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

区役所管理・運営に必要な事業であることから、事務改善に取り組みながら、継続実施していく。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ①区役所運営事業
区役所の行政サービスを円滑に実施するため必要な事業を実施する。
- ②公有財産維持管理事業
天竜区内の公有財産を適切に管理するために必要な事業を実施する。
- ③庁舎維持管理事業
天竜区役所として庁舎を市民が快適、安全に使用していただくために必要な事業を実施する。
- ④公用自動車管理事業
公用車を安全に運行するために必要な事業を実施する。

事業シート (事業名) 02 協働センター等管理運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

- ①身近な行政サービスの拠点である協働センター・ふれあいセンターの管理運営を効率的に実施する。
 ②市民に適切で迅速な行政サービスの提供を行う。
 ③生涯学習の推進を図るための機会、場所、情報を提供する施設として、ふれあいセンターの適切な維持管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2013	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)	Ⅲ-3(1)ア						

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
		⑰実施手段							
事業とゴールの 関連性		区役所から離れた地域の方も平等な市民サービスを受けることができるように、身近な行政サービスの拠点である協働センター・ふれあいセンターの管理運営を効率的に実施する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	185,346	282,537	257,065	161,261	196,129	
	決算	153,957	164,133	246,879	152,273		
	国・県支出						
	市債			30,200			
	その他	8,183	70,249	29,566	8,647	8,258	
	一般財源	145,774	93,884	187,113	143,626	187,871	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	
人工	正規	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		195,957	206,133	288,879	194,273	238,129	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
ふれあいセンター利用者数(人)		目標	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
		実績	70,875	34,219	42,195	40,743		
市民協働スペース利用回数(回)		目標	150	150	150	150	150	150
		実績	208	435	156	199		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

協働センター及びふれあいセンターの運営・維持管理
市民に身近な行政サービスの提供
社会教育団体や地域団体への施設貸し出し業務
各種講座の開催



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度
ふれあいセンター8館の利用者数 40,743人
市民協働スペース利用回数 199回

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
地域に密着した施設である協働センター・ふれあいセンターの適切な維持管理を行い、来庁者に安心して利用していただいた。
設備保守等の委託は一括契約・発注を行い維持管理費の削減に努めた。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
必要な修繕等を行い、利用者の安全・安心の確保、サービスの向上を図る。
各協働センターに設置した「市民協働スペース」の利用促進を図る。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

協働センター及びふれあいセンターの運営・維持管理
市民に身近な行政サービスの提供
社会教育団体や地域団体への施設貸し出し業務
各種講座の開催

事業シート (事業名) 03 区協議会運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

地域の意見を行政に的確に反映させるため、天竜区協議会の円滑な運営を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市区及び区協議会の設置等に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

									①実施手段
事業とゴールの 関連性	区協議会は様々な団体の意見を行政運営に反映させ、地域における市民協働を推進する役割を果たしているため								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	140	482	139	139	190	
	決算	110	465	118	93		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	110	465	118	93	190	
人件費(報酬等)(A)		1,292	1,227	1,255	1,266	1,906	
人件費(人工分)(B)		2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	
人工	正規	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		4,202	4,492	4,173	4,159	4,896	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
区協議会開催回数(回)		目標	12	12	12	12	12	12
		実績	12	11	12	12		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度

分野

07

基本政策

02

政策

01

予算費目

11

所属コード

072601000

事業

03

(担当課)

天竜区・区振興課

(責任者)

内山 浩治

(基準日)

2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ①区協議会の開催 年間12回実施
- ②会議録の作成
- ③ホームページ等による情報公開



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

区協議会開催 12回

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

天竜区協議会の円滑な運営により、広大な地域の多様な意見を行政に反映することができた。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も地域と行政との橋渡し役として、活発な議論のできる場を提供していく。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ①区協議会の開催 月1回 年間12回を予定
- ②会議録の作成
- ③ホームページ等による情報公開

事業シート (事業名) 04 地域力向上事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

多様な主体が対等な立場に立ち、相互に活躍する取り組みを通じて住みよい地域社会を実現するため、区民の参加と協働により区の特性を活かした事業や課題を解決する事業を実施する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2022	2024	一般会計	自治事務(その他)	地域力向上事業実施要綱・市民提案による住みよい地域づくり助成事業費補助金交付要綱

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-3(1)ア						

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑰実施手段
事業とゴールの 関連性	新規事業提案の増に向けた取り組み実施。 コミュニティ担当職員を中心に、事業提案のフォローを実施。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	28,107	10,584	23,267	27,753	30,601	
	決算	23,005	7,962	15,307	22,090		
	国・県支出					3,300	
	市債						
	その他	14,292	5,087	4,310	10,130	6,004	
	一般財源	8,713	2,875	10,997	11,960	21,297	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200	
人工	正規	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		27,205	12,162	19,507	26,290	34,801	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
地域力向上事業実施件数(件)		目標	30	30	30	30	30	30
		実績	28	20	23	23		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

次の3種類の区分の事業を実施

- ① 市民提案による住みよい地域づくり助成事業
団体からの提案に基づき、市が公益上の必要を認め、団体が主体的に取り組む事業へ補助金を交付した。
(2022(令和4)年度実施事業 4件)
- ② 区民活動・文化振興事業
地域の活性化や文化振興のため、市民協働の観点を取り入れて事業を実施した。
(2022(令和4)年度実施事業 11件)
- ③ 区課題解決事業
区内の課題を解決するため、市民協働の観点を取り入れて事業を実施した。
(2022(令和4)年度実施事業 8件)



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

成果

事業実施による地域コミュニティの醸成、市内間交流の活性化につながった。

課題

人口減少に伴う団体のマンパワーの低下、自己資金の確保。
コロナ禍において、集客を伴うイベントの提案が減少。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

ウィズコロナ時代を考慮した事業実施が求められる。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き市民からの提案を積極的に募集し、市民協働の理念に基づいた事業を実施していく。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

新規事業提案の増に向けた取り組みを実施する。

コミュニティ担当職員を中心に、事業提案のフォローを実施する。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

次の3種類の区分の事業を実施

- ① 市民提案による住みよい地域づくり助成事業
団体からの提案に基づき、市が公益上の必要を認め、団体が主体的に取り組む事業へ補助金を交付する。
(2023(令和5)年度当初 実施予定事業 1件)
- ② 区民活動・文化振興事業
地域の活性化や文化振興のため、市民協働の観点を取り入れて事業を実施する。
(2023(令和5)年度当初 実施予定事業 12件)
- ③ 区課題解決事業
区内の課題を解決するため、市民協働の観点を取り入れて事業を実施する。
(2023(令和5)年度当初 実施予定事業 7件)

事業シート (事業名) 05 行政連絡文書配布事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

広報はままつ等の地域住民に密接な市政の情報を確実・正確に配布・回覧することを目的に行う。また、これにより、地域の人同士のふれあいや相互理解が図られ、コミュニティの維持、形成にも効果がある。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2008	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		⑰実施手段							
事業とゴールの 関連性		市政や事業等の周知、調査等を行うためには、住民組織を代表とする自治会とのパートナーシップにより行うことが不可欠である。 また、市政情報の配布・回覧業務を自治会に委託することにより、地域の人同士のふれあいや相互理解が図られ、コミュニティの維持、形成につながる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	30,611	30,900	29,352	28,756	28,636	
	決算	29,717	29,338	28,609	28,330		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	29,717	29,338	28,609	28,330	28,636	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700	700	700	
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		30,417	30,038	29,309	29,030	29,336	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

広報紙等の行政連絡文書を天竜区自治会連合会に委託し、自治会組織を通じて各世帯に配布する。広報はままつや議会だより等の行政文書の配布や回覧、物品の配布、ポスターの掲示、その他必要な調査等を行った。
 配布世帯数 10,498世帯 未配布世帯 54世帯(ごみカレンダーの配布や敬老会についての調査等を実施)
 業務内容 行政連絡文書の年間23回の配布及び回覧並びに必要な調査業務等



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

人口減少、高齢化が進む中で、地域のコミュニティの維持、形成が図られた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

人口減少、高齢化が進む中で、地域のコミュニティの維持、形成が図られた。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

現状の委託方法を継続しながら必要な見直しを実施していく。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

広報紙等の行政連絡文書を天竜区自治会連合会に委託し、自治会組織を通じて各世帯に配布する。広報はままつや議会だよりなどの行政文書の配布や回覧、物品の配布、ポスターの掲示、その他必要な調査等を行う。

配布予定世帯数 10,350世帯 未配布世帯 63世帯(ごみカレンダーの配布や敬老会についての調査等を実施)

業務内容 行政連絡文書の年間23回の配布及び回覧並びに必要な調査業務等を行う。

事業シート (事業名) 06 自治会振興事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

自治会活動が円滑にできるよう、防犯灯設置維持管理助成事業、集会所整備事業費補助事業、原材料支給事業を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2008	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市集会所整備事業費補助金要綱 等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	19,555	15,473	18,233	31,018	22,968	
	決算	18,247	13,444	18,216	28,890		
	国・県支出				1,876		
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	18,247	13,444	18,216	27,014	22,968	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		19,647	14,844	19,616	30,290	24,368	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
自治会集会所(新築・増改築)補助対象数 (件)		目標	2	2	2	2	2	2
		実績	4	1	2	3		
防犯灯設置新設数(灯)		目標	90	90	90	90	90	90
		実績	95	132	45	74		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

防犯灯設置維持管理助成事業・・・自治会で管理する防犯灯に対する設置、維持管理に対する補助金
2022(令和4)年度
新設74灯
維持管理 6,099灯

集会所整備事業費補助事業・・・自治会が所有する建物またはその部分の整備に対する補助金
2022(令和4)年度
新築 1自治会(1棟分)
改修 2自治会(2棟分)



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

更新(LED化)5か年計画 2013(H25)年度～2017(H29)年度 ※2022(R4)年度末 達成率99%

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

地域の犯罪防止や交通安全の推進を図った。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

自治会と連携し、適切な設置に努めていく。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

防犯灯設置維持管理助成事業・・・自治会で管理する防犯灯に対する設置、維持管理に対する補助金
2023(令和5)年度
新設47灯(共架式35灯、独立式12灯)
維持費(電気料) 6,200灯
管理費(補修費) 75灯

集会所整備事業費補助事業・・・自治会が所有する建物またはその部分の整備に対する補助金
2023(令和5)年度
改修 6自治会(6棟分)

原材料支給事業・・・区内で地域が自ら行う道路補修等に対してコンクリート等の原材料を支給するもの

事業シート (事業名) 07 鹿島花火大会開催事業(負担金)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

毎年8月第1土曜日に開催される伝統の鹿島花火大会開催事業のうち「来場者の安全確保」「会場の環境保全」を図り、花火大会の円滑な運営を支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2010	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	4,819	0	0	0	6,768	
	決算	4,819					
	国・県支出						
	市債						
	その他	2,000				1,000	
	一般財源	2,819				5,768	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	700	700	700	700	700	
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		5,519	700	700	700	7,468	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
主催者発表観客数(万人)		目標	8	8	8	8	8	8
		実績	9	-	-	-		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

新型コロナウイルス感染防止のため事業中止

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

新型コロナウイルス感染防止のため事業中止

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

感染対策を講じた花火大会の運営のあり方
地域や企業等からの賛同可否

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

新型コロナウイルス感染防止のため事業中止

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・仮設電気設備の老朽化に伴い改修する必要がある。
- ・安全対策や環境対策など万全に行うとともに、感染対策をした会場設営に努める必要がある。

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

会場の安全対策及び環境対策等において支援していく。

開催日 令和5年8月第1土曜日

事業シート (事業名) 08 天竜区交流促進事業(負担金)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

各地区の歴史や文化など地域の魅力をPRし、交流人口の増大を図るため、各地区で行われる産業まつりの実施を支援する。また、5つの産業まつりを「北遠秋まつり」として、連携を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2013	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-3(1)ア						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	11,688	11,688	4,973	11,942	12,005	
	決算	11,688	11,105	4,769	11,327		
	国・県支出						
	市債						
	その他	7,000	9,000	1,000	5,000	2,000	
	一般財源	4,688	2,105	3,769	6,327	10,005	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	700	700	700	700	700	
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		12,388	11,805	5,469	12,027	12,705	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
来場者数(万人)		目標	7	7	7	7	7	7
		実績	6	-	-	3		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

各地区の実行委員会が行う産業まつりへの支援を行った。

- 11月 3日(木・祝) 天竜産業観光まつり
- 11月 6日(日) 水窪マルシェ
- 11月 13日(日) フェスタさくま、ほっとびあたつやま産業祭
- 11月 19日(土)20日(日) はるの産業まつり

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・2019(令和元)年以來の現地開催となり、感染対策をしながら各種イベントを実施した。
- ・来場者数は指標を下回ったものの、各地区には久しぶりに多くの来場者が訪れ、地域の魅力をPRすることができた。
- ・今後、感染拡大等により現地開催が困難な場合の対応が求められる。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

感染対策を踏まえた安心安全な内容への見直し

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・2022(令和4)年度は、2~3年度に開催したオンライン物産展等から、現地開催による集客型の産業まつりに仕立て直した。
- ・5地区の共同事業として、周遊促進(北遠秋まつりスタンプラリー)事業も復活(実施)した。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・感染対策を徹底した安心安全な産業まつりの開催が必要
- ・より地域の魅力を発信する企画の検討、実施が必要

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

各地域の産業まつりの開催に、実行委員として参画し、警備や会場設営等に対して支援していく。

- 11月上旬 天竜産業観光まつり
- 11月中旬 みさくぼ夢街道、フェスタさくま、ほっとびあたつやま産業祭
- 11月下旬 はるの産業まつり

事業シート (事業名) 09 森林のまち童話大賞事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

森林を題材とした童話を全国から募集し、最優秀作品を絵本にして発行する。
自然豊かな浜松市のPRと未来を担う子ども達へ森林の大切さを発信する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2023	2025	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑮陸上資源
事業とゴールの 関連性	浜松市の中山間地域の約9割を担う森林がもたらす自然資源や林業による経済資源を、地域の魅力のプロモーションのひとつとして活用していく。 森林がもたらす恵みや大切さを、次代を担う子供たちに伝えていく。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	5,034	1,000	5,126	8,234	1,463	
	決算	4,920	730	4,884	7,458		
	国・県支出						
	市債						
	その他	473	123	153	290	4	
	一般財源	4,447	607	4,731	7,168	1,459	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	700	700	700	700	700	
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		5,620	1,430	5,584	8,158	2,163	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
表彰式来場者数(人)		目標	—	—	—	20	—	—
		実績				12		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度

分野
07

基本政策
02

政策
01

予算費目
11

所属コード
072601000

事業

(担当課)
09 天竜区・区振興課

(責任者)

内山 浩治

(基準日)

2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

2020(令和2)年度から3年を1サイクルとして事業展開。

2022(令和4)年度(3年目)は、表彰式と大賞受賞作品のミュージカル公演を開催した。

(参考)

- 1年目/2020(R2)年度 作品募集準備(募集要項とポスターの作成)
- 2年目/2021(R3)年度 作品募集・審査
- 3年目/2022(R4)年度 表彰式・大賞本の出版、PR事業(ミュージカル公演)

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

表彰式と、大賞受賞作品のミュージカル公演を開催した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルスの流行により集客数の制限が生じる可能性がある。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・表彰式と記念公演を初めて同日開催したが、調整が難しい部分があり、次回は別日開催を検討したいと意見があった。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・区を代表する事業としての事業価値を高め、自然豊かな浜松市と未来を担う子どもたちへ森林の大切さについて、引き続き積極的なPRに努めていく。
- ・作品応募件数の増加と応募者の利便性向上のため、作品応募をオンラインでも受付できるよう検討する。

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

2024(令和6)年度の作品募集の準備として、ポスターの作成・発送を行う。

オンライン作品受付のフォームを構築する。

3年を1サイクルとして実施。

- 1年目(2023(R5)年度) 作品募集の準備を実施(ポスター作成・発送)
- 2年目(2024(R6)年度) 作品募集・審査
- 3年目(2025(R7)年度) 表彰式・大賞本の出版、PR事業(ミュージカル公演)

事業シート (事業名) 10 天竜区駅伝大会事業(負担金)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

風光明媚な天竜区の景色を楽しむとともに、市民の「見るスポーツ」「するスポーツ」「支えるスポーツ」推進を図るため、各地で行なわれる駅伝大会の開催を支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2013	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	3,845	31	42	136	3,845	
	決算	3,845	31	41	136		
	国・県支出						
	市債						
	その他	2,000					
	一般財源 一般会計繰入金	1,845	31	41	136	3,845	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700	700	700	
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		4,545	731	741	836	4,545	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
参加チーム数(チーム)		目標	270	270	270	270	270	270
		実績	250	-	-	-		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点や災害による走行コース決壊により、下記の大会は全て中止となった。

- 第9回 船明ダム周回駅伝大会(2022(令和4)年11月27日開催予定)
- 第50回 天狗の里駅伝大会(2023(令和5)年1月8日開催予定)
- 第50回 佐久間駅伝大会(2023(令和5)年1月29日開催予定)
- 第71回 北遠駅伝大会(2023(令和5)年2月26日開催予定)



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

成果: 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点や災害による走行コース決壊から、全ての大会が3年連続で中止となったため、事業の成果を評価することができない。

課題: ①参加チーム数の伸び悩み。(4年ぶりに大会を開催してみて、どの程度の参加チームがあるか。)

- ②人口減少・高齢化等によりスタッフの確保が難しくなっている。
- ③自主財源の確保。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

人口減少・高齢化によるマンパワー不足。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・実行委員会で情報交換をしたが、新たな自主財源の確保には至らなかった。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・大会の周知、参加しやすい運営方法の工夫による参加チーム数の確保。
- ・スタッフの確保。
- ・自主財源の確保。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- 第10回 船明ダム周回駅伝大会 2023(令和5)年11月開催予定
- 第51回 天狗の里駅伝大会 2024(令和6)年1月開催予定
- 第51回 佐久間駅伝大会 2024(令和6)年1月開催予定
- 第72回 北遠駅伝大会 2024(令和6)年2月開催予定

事業シート (事業名) 11 区役所デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

「デジタルファースト宣言」に基づき、天竜区内の拠点施設である区役所、協働センター、ふれあいセンター、文化会館等をデジタル技術を活用し結び付け、地理的・距離的ハンデを解消し、各種会合、講座、芸能活動の発表など施設相互及び個人のインターネット端末等において行政サービスを楽しむ・運用できる基盤整備の構築を実施する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	-	(施策)					

(4) 関連するSDGsのゴール

⑨イノベーション							
事業とゴールの関連性	デジタル技術を活用した各種会合、講座等の開催、文化・芸術等ライブ配信システムの構築、運用を行う。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			1,764	2,746	896	
	決算			1,535	2,686		
	国・県支出			138	2,660		
	市債						
	その他						
	一般財源			1,397	26	896	
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				700	700	700	
人工	正規			0.1	0.1	0.1	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				2,235	3,386	1,596	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
オンライン講座受講者数(人)		目標			50	120	120	120
		実績			85	22		
WEB会議実施回数(回) ※2022(令和4)年度から指標廃止		目標			46	-	-	-
		実績			37	-	-	-
ライブ配信視聴者数(人)		目標				300	300	300
		実績				1,374		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

①オンライン教養講座開催事業
従来ふれあいセンターで開催している教養講座をWeb会議のアプリを活用したオンラインで開催した。

②Web会議運営事業
春野、佐久間、水窪、龍山協働センターと天竜区役所間を有線LAN又はインターネット回線網でつなぎ各種会議、打ち合わせをWebで実施した。

③(新規)文化・芸術等ライブ配信システム構築事業
天竜区内の文化施設5施設を光ファイバ網により整備し、地域文化祭のライブ配信及びアーカイブ配信を実施した。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度

①オンライン教養講座開催事業については、年間2回のオンライン講座を実施し、延べ22人が受講。

②Web会議運営事業については、既存テレビ会議システムのリースが終了し、既存の配備タブレット端末やクロームブックでWeb会議アプリ「Zoom」を活用し、各種会議、打ち合わせ等を実施した。

③(新規)文化・芸術等ライブ配信システム構築事業については、地域文化祭、特に身近な出演者の配信に予想以上の需要があり、目標値を大きく上回ることができた。より多くの方に満足いただくように配信する事業の選定に課題あり。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工

②Web会議運営事業は、Web会議に必要な端末を各施設に配備し、既存のテレビ会議システムからWeb会議アプリ「Zoom」への活用に切り替えた。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工

①オンライン教養講座開催事業は、受講者数の増を見込む。

②Web会議運営事業は、Web会議アプリによる会議が主流となり目的を達成していることから、各施設に配備している端末に係る予算を情報システム課へ組替し、事業を縮小していく。

③文化・芸術等ライブ配信運営事業は、著作権を考慮し、配信する事業を選定する。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

①オンライン教養講座開催事業
従来ふれあいセンターで開催している教養講座をWeb会議アプリを活用したオンラインで開催する。

②Web会議運営事業
Web会議に関連する周辺機器を整備し、端末に係る予算を情報システム課へ組替し、事業を縮小していく。

③文化・芸術等ライブ配信運営事業
昨年度実施していない文化施設から2事業を選定し、配信事業を実施する。